

『忙しさの中で感じたこと』

進路指導部

先日、スーパーの青果厨房で加工作業を行う現場にお邪魔した時のエピソードです。日ごろより売り上げが多い店舗と、いうこともあり、直ぐに陳列してある商品棚に空間ができてしまいます。私が厨房の片隅で、卒業生の丁寧なラッキョウの仕上げを見守っていたその時、「ラッキョウと青梅が無いよ！早くして！それからカットフルーツとキウイも！とにかく急いで！お客様が待ってるから！」と勢いのある大きな声が響きました。直後、売り場担当の方が本校卒業生の仕上げた商品を小脇に抱え、売り場へ小走りで戻られました。厨房内にはピリツとした空気が漂いました。すると、誰ともなく忙しく手を動かしながら「今は、私達には出来ない、丁寧なチェックが必要な商品を彼が担当しているんですよ。」「だから、時間との戦いを強いられているのは私たちで、彼ではないんです。」「さっきの担当者もすべてが分かって指示を出しているんですよ。まあ、あの人の性格ですから。」と彼の個性を本当によく理解していただいている暖かい言葉に感激しました。忙しくとも、誰もが自身の最高の力を発揮していくチームワークの良い、恵まれた環境で働けていることに、感謝の言葉以外は頭に浮かびませんでした。